

輝け！おばねっ子

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～



おもてなしの心で人とつながる～玉野小・銀山茶会～

10月13日(金)に、玉野小学校の5・6年生18名が、銀山温泉で茶会を開きました。これは、ふるさと学習の一環で、銀山温泉を会場に、お茶を点てて観光客にふるまうことを通して、地域の魅力を多くの人に発信することが目的です。



袱紗

最初に、お茶の先生の松浦加奈先生から、腰に赤い袱紗(ふくさ)をつけることでおもてなしのやる気スイッチを入れて「一期一会」の気持ちを持って接することについて、お話がありました。

さあ、開始時刻の10時です。まず、チェックアウトし銀山温泉を去るお客様を、橋の上に準備した座席にご案内し、お菓子を差し上げます。次に、本部で点てたお茶を他のお客様にぶつからないように気を付けながら運搬し「地元の原料で作った茶碗と地元の水でつくったお茶です。どうぞ」と説明して差し上げます。

「何事か」と思っていたお客様も事情が呑み込めてきて、子どもたちに笑顔で話しかける姿が見られるようになってきました。その様子を見ていた他のお客様も「私もいただくかしら…」と座り始め、橋の上はかなり混雑した状況に。



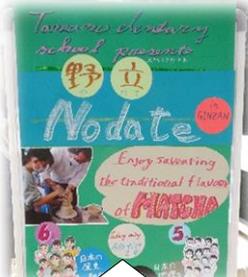
喜んでもらえるかなあ

最後に、松浦先生から茶道の心得を表す「和敬清寂」のうちの「寂」(どんなときにも動じない心)に関して、「想定外の事態になっても、動じずに自分たちで話し合って解決した子どもたちに成長を感じた」と、お褒めの言葉をいただきました。また、多くのお客様から「今日、銀山温泉に来てよかった」「子どもたちに感動しました」「とてもいい取組ですね」といった言葉もいただきました。

最後に、松浦先生から茶道の心得を表す「和敬清寂」のうちの「寂」(どんなときにも動じない心)に関して、「想定外の事態になっても、動じずに自分たちで話し合って解決した子どもたちに成長を感じた」と、お褒めの言葉をいただきました。また、多くのお客様から「今日、銀山温泉に来てよかった」「子どもたちに感動しました」「とてもいい取組ですね」といった言葉もいただきました。

さわやかな秋晴れの銀山温泉に、たくさんの笑顔が映えた1日となりました。

※小中学生へ:「一期一会」「和敬清寂」の意味を、タブレットなどで調べてみましょう



外国の方を想定し、英語でも書かれた看板です



こぼさないように…



どうぞ、お召し上がりください



茶碗は自分たちでつくったんです!



バイオリンの音色に聴き入る子どもたち

【担当】尾花沢市教育委員会子ども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330